

編集後記

学会ニュース第96号をお届けいたします。第9期の新体制がスタートしています。新たな役員、各種委員会構成については学会ホームページからご確認ください。今号は、和気純子新会長の就任の御挨拶をはじめ、第72回秋季大会開催の案内、第72回春季大会の報告、地域ブロックの報告、シリーズ「日常から離れて」、CS-NETサロン開催報告など、さまざまな場所での学会活動の様子をお届けしております。

2024年5月26日(日)に開催された第72回春季大会テーマは、「戦争と社会福祉－歴史研究から学ぶ」ことです。戦争が生み出した課題(多くの人々の生命・生活・人生を奪うことと、優生思想の正当化、排外主義の高揚、戦争孤児の発生)と、その中で福祉がどのように展開されてきたのかは、現在も議論されています。山田壮志郎会員(日本福祉大学)が述べたとおりに「過去の問題としてでなく現在の問題として捉える」ことが重要だと感じました。

今回のシリーズ「日常から離れて」は、西田恵子会員(立教大学)より「ドイツの都市で目にした社会福祉と戦争の影－社会福祉アーカイブズの必要性」というテーマでご寄稿いただきました。特に、「社会福祉のあるべき姿を求めていく上で、過去を知ることは重要だと考えている」という部分が印象的でした。社会福祉において現状分析も重要であるが、これからのよりよい社会福祉実践を行うためには、これまでの歴史から社会福祉がどのように展開されてきたのか分析することが非常に重要だと思いました。皆様もぜひご一読ください。

任 セア(立教大学)